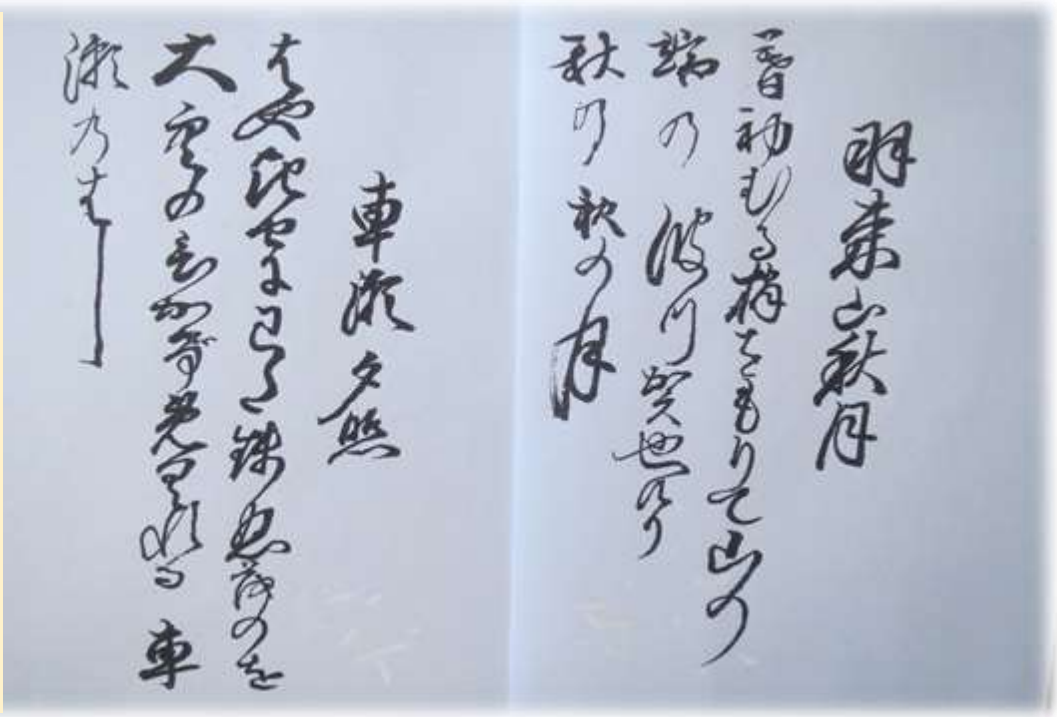
令和八年度　三田ふるさと学習館企画展

古文書に親しむ

わが町三田の美しい景色を詠んだものです。
どこの、どんな風景が目に浮かんできますか。
『本調子三田八景歌』(関戸独軒)より抜粋



Ⅰ　企画展　2026/11/4(水) ▶ 2027/1/31(日) 10:00~17:00　於:三田ふるさと学習館

「古文書」は「こもんじょ」と読みます。昔、ある人からある人へ出した手紙や証文などです。
その時代に生きた人々の暮らしや考え方などが分かります。
今回は、江戸時代に書かれた古文書を中心に紹介します。

Ⅱ　展示作品の解説　2027/1/24(日) 10:30~12:00　於:三田ふるさと学習館

古文書の多くは、青蓮院流（御家流）という「くずし字」で書かれています。

この書体は、全国的に庶民にも広まっていたので読み方がある程度分かれば、どの地域の古文書も同じように読むことができます。ただ、「くねくねした」文字や漢文のように見える文字、「六ケ敷（むつかしき）」などの当て字が多いことなどから、難しいと思うかもしれません。

わかりやすい解説を心がけます。少しずつでも読めるようになると、古文書がおもしろくなってきますよ。ぜひ、「展示解説」にお越しください。

【問い合わせ先】

三田ふるさと学習館　☎ 079-563-5587

開館時間：10:00～17:00
休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館）



（企画：歴史文化財ネットワークさんだ「古文書を読む会」）